

平成 30 年 5 月 18 日

瀬戸内市議会議長

原野 健一 様

瀬戸内市議会議員 岡 國太郎

### 政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。げんしょうじ

期間	平成 30 年 5 月 10 日 ~ 平成 30 年 5 月 11 日
研修会名	2018 年度日本自治創造学会研究大会 人生 100 年時代の地域デザイン ～人口減少社会に向き合う地域社会～ 「
開催場所	東京 明治大学アカデミーホール
研修目的・ 内容	人口減少社会を見据えた今後のあるべき地方自治の姿を俯瞰する視点を習得しようとして参加した。 菅内閣官房長官、北川正恭早稲田大学教授（前三重県知事）他の政治家、伊藤明子国土交通省住宅局長らの講演やシンポジウム、それに改革発表会が行われた。参加者は全国各地の首長、県議、市町村議、市町村職員等約 600 人だった。（大多数は市町村議） 改革発表会では、各地で七つのグループ・個人の発表があり、参加者の投票の結果、川西市議会の明日のかわにしによる「日本初？マイナスの会派予算提案書」がグランプリに選ばれた。
所感	錚々たる講師陣に惹かれ参加を決意したが、期待以上の収穫があった。菅官房長官や新藤義孝元総務大臣によるアベノミクスの成果報告とともに、北川正恭前三重県知事によるこれからの日本を考える上では地方主権の構造が不可欠との提言もあった。中でも、佐々木信夫中央大学名誉教授による「これからの日本をどうする」と題した講演の中での、「廃県置州」すなわち 10 州 2 都市の「道州制」による財政再建削こそが、人口減少社会における今後の日本のあり方のキーポイントであるとの話に感銘を受けた。

